

2. 栄養成分の表示例

生産者が栄養成分を表示した生鮮食品を販売するときの具体的な表示例を示しますので、参考として下さい。



栄養成分表示として考えられる例

○ その生鮮食品の一般的な特徴について表示する例

- ① 「こまつなは鉄分を多く含む食品です。」
- ② ■■には、○○という成分が△△mg含まれています（「日本食品標準成分表」より）。

○ その生鮮食品の一般的な特徴でなく、当該品種特有のものとして表示する例

- ① ○○成分を□□mg含有（分析機関：◇◇分析センター）
- ② 一般的な品種より○○成分が△割多く含まれています（「日本食品標準成分表」と比較）。

※ こうした表示をするには、「栄養表示基準」に定められたルールに準じるなどにより、適正に行う必要があります。詳しくは裏表紙のQ1をご参照下さい。

消費者に誤認を与える可能性のある表示

- ① 実際には成分が含まれていないにもかかわらず、○○が△△mg含まれている旨を表示
- ② 露地とハウスのデータが存在し、該当しないにもかかわらず、高い方のデータを記載
- ③ 実際には有意差が見られないにもかかわらず、従来品種より特定の成分が多い品種である旨を表示
- ④ 流通過程で著しく成分が減少することがあるにもかかわらず、収穫時の含有量を表示
- ⑤ 栽培時期や方法により成分含有量が確保できない場合があるにもかかわらず、一定の含有量を表示
- ⑥ その他、科学的・客観的根拠が不明確であるにもかかわらずデータを記載

なお、表示例はあくまでも参考事例ですので、実際に表示を行うに当たっては、お近くの保健所までお問い合わせ下さい。